

学校だより

かみさくのべ

令和8年度

学校だより

令和8年4月27日

川崎市立上作延小学校



温かさにあふれる上作延小学校を作っていきます

校長 清水 弘彦

桜の木々も1年生はもちろん、子どもたちの生活が軌道に乗る姿を確認し終えたかのように葉桜へと変化しています。令和8年度が始まり、約1か月が経過しました。私は教職員とともに、東門、西門で朝子どもたちの登校を見守っていますが、多くの子どもたちと元気よくあいさつを交わすことができ、パワーをもらっています。

先日の学校説明会・学年始懇談会では、たくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございました。当日は中休みに開催されたスプリングコンサートで勢いに乗った6年生のみなさんに、学校説明会前に合唱「believe」、合奏「威風堂々」を披露してもらいました。柔らかな歌声でまとまっていた「believe」から一転、今度は一人一人の力強い演奏で大きなまとまりとなって「威風堂々」が奏でられました。普段の練習の成果が十分に感じられました。

また、20日（月）に行われた、1年生おめでとう集会は、6年生の巧みな司会進行のもと進められました。

2年生はどんなに不安なことがあっても「でも大丈夫！」のかけ声によって何事もプラスに考える力が伝わりました。「手のひらを太陽に」も素晴らしかったです。

3年生は学校の楽しいところを短いパフォーマンスに込めて伝えていました。「ありがとうの花」を「おめでとう」に変えて合唱していました。

4年生は、司会の「4年生のみなさんお願いします。」の声に全員が「はい！」と答え、全員のダンスパフォーマンス「スーパースター」が展開され、1年生もノリノリでした。

5年生は1年生の国語で学習する「大きなかぶ」を学校での大きな「楽しみ」に見立て、学校の楽しさを伝えていました。合唱の「いつだって」から元気をもらいました。

6年生は「学校の素敵」を図書室、体育館、先生、そして6年生と紹介しました。今も優しく1年生のお世話をしています。「believe」の歌声も優しく響いていました。

お兄さんお姉さんの優しさあふれるメッセージを全身で受けた1年生は、みんなに負けない声でお礼の言葉を伝えていました。言葉に表しきれない感謝の気持ちを「どんな色がすき」に込めて、みんなからの手拍子とともに元気よく歌っていました。

さて、今月末は、6年生の修学旅行、来月には、5年生の自然教室が控えています。体調を整えつつも、一つ一つの行事を向き合っていけるよう支援していきます。

最後に皆様にお願ひがあります。1年生おめでとう集会でも子どもたちに伝えましたが、毎日学校に来る子どもたちのコンディションはそれぞれ異なります。元気いっぱいの子もいれば、やっとの思いで学校に来ることができた子、体にハンディキャップを持っている子、酸素ボンベが必要な子、エレベータが手放せない子、病気の治療の関係で髪の毛が一時的に抜けている子などなど、例を挙げるとまだまだあると思います。誰もが自分と同じではないこと、いろいろな人がいてお互いに思いやらなければいけないこと、走っていい場所いけない場所があること、お互いに優しい気持ちで分かり合える上作延小学校をみんなで作っていきましょうと伝えました。子どもも大人もみなさんで作り上げたいと思います。皆様のご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。